

大阪府立・市立大統合へ

大阪府立大(堺市中区)と大阪市立大(大阪市住吉区)について、松井一郎府知事と橋下徹市長は8日、両大学を統合し、2016年4月に新大学の開学をめざす方針を了承した。14年度末にも文部科学省に新大学の設置を申請。双方の学生・院生数は計約1万7千人で、統合すれば、首都大学東京(約9千人)を抜いて全国最大の公立大となる。

▶36面―国際競争力の強化図る

2016年開学めざす

8日の府市統合本部会議で示された新大学構想によると、府立大の4学域と市立大の8学部を、統合後は4学域9学部に変編。双方の理学系と工学系の一部を合わせた「地球未来理工学部」(仮称)を新設し、新エネルギーや防災のほか、新薬開発などの研究に重点投資。獣医学部と看護学部も新設する。キャンパスは現在の府立大と市立大の計5カ所を当面活用、将来は大阪都心部への移転も検討する。

今後は、4月から両大学にそれぞれつくる新大学検討本部が協働して、新大学の学部・学域のあり方やカリキュラムを決める。15年度には経営母体の公立大学法人を一元化し、同年度中に文科省から設置認可を得ることを目指す。

(阿久津悦子)

大阪府立大		大阪市立大	
学生数 8132人	工学域 現代システム科学域 生命環境科学域 地域保健学域	学生数 8728人	理学部 工学部 医学部 法学部 文学部 経済学部 商学部 生活科学学部
★新設の学部・学域	新大学 学生数 約1万7千人	工学域 現代システム科学域 生命環境科学域 人間科学域	理学部 医学部 法学部 文学部 経済学部 商学部 地球未来理工学部 獣医学部 看護学部

国際競争力強化図る

大阪府立・市立大 「拙速」批判も

大阪府立・市立大の統合方針が固まった。府市が目撃とする2016年春の新大学開学が実現すれば、今春入学する新1年生は統合後初の卒業生となる。「国際競争力のある大学」をめざす橋下徹市長にとって、両公立大の統合は府知事時代からの悲願だった。

▶1面参照

橋下氏は知事時代の2009年、府立大に「年100億円超の府費を投じるのは疑問」として改革を要求。国や企業から助成が得

やすい理系分野に重点を置く学部再編を実現させた。市立大についても「別個の財布で大学を持っても中途半端」と主張。1年に市長に就くと、松井一郎知事と統合議論を推し進めた。

構想によると、新大学は、医学部を持つ市立大と理系に強い府立大の強みを生かし、医療工学やナノテクノロジーなど先端研究に重点を置き、国際競争力を強化。国内最大の看護師養成拠点となる看護学部や公立大では珍しい獣医学部な

どを新設し、広くアジアからも学生を集めたい考えだ。橋下市長は8日、「世界と戦える大学ができる。すごいうれしい」と満足した様子だった。

ただ約1年で固まった構想には懸念の声もある。府立大卒業生らでつくる「府立大問題を考える会」の中井英二代表は「改革は拙速すぎる」と批判。新大学が経営トップの理事長と教育組織を束ねる学長を明確に分け、経営効率化をめざす姿勢にも「学問や研究が制約されるおそれもある」と指摘する声もある。